



artful_settaya_001_paintings

(絵画・美術編)

昨年10月のアートフル・サフランの摂田屋版です。
この座学と現地ガイドツアーがセットになっています。

今日は絵画・美術編のみですが、こんな順番で、お話しします。

① 平澤熊一

② 川上四郎

③ 秋山孝（ポスター美術館）

④番外編として、河上伊吉、松岡譲

あえて、平澤熊一から

1. 平澤熊一 の「南苑」
2. 春日のガイドポイント
3. 平澤熊一年譜 (1908-1989)
4. 「見附織物工業協同組合」が
2023年3月に解散予定

参考

見附ギャラリー バンフレット

2019_没後30年 平澤熊一・若井宣雄展チラシ

1. 平澤熊一



「孔雀」をモチーフとした油絵 《南苑》 1943 F120 (130×194cm)

平澤熊一の代表作といえる、この大作は、現在、長岡隣の見附市、の「ギャラリーみつけ」に、ほぼ常設展示されています。戦前の作品が東京大空襲で全て火災で失われ、「南苑」は、きっと実家の摂田屋にあって、奇跡的に難を逃れたものと思われる。

貧乏に苦勞し、栃木にアトリエ付きの一軒家を贖うために、自身の代表作とも云うべき大作「南苑」を手放すことにし、たまたま長岡の町が空襲で長岡の商家に余裕がない時、隣り町見附の織物協同組合が買い取ってくれ、最終的に 見附市の所蔵美術品として、今日に至っています。

それも、偶然、再発見。

戦後5年たったころ、長岡の商工業界がまだ復興途上で、隣の見附織物協同組合が買い取ったようです。長岡に全く余裕がなかったのか、見附の織物業が強かったのか。

その見附織物協同組合が2023年に解散。構造変化と産地再編成といえば、それだけですが、「南苑」の永住の地を作ってくれた組織ですので、少し寂しい気がします。



草むら
1960年代

(近美所蔵品)

平澤熊一

1908(明治41)年、新潟県古志郡上組村大字撰田屋生まれ。

1927(昭和2)年、工学院建築科を卒業。

1928(昭和3)年、川端画学校洋画科で学ぶ。

1943(昭和18)年、第4回美術文化展で「南苑」が奨励賞。

1945年(昭和20)空襲を避け5月頃、長岡に疎開する。

1950年(昭和25)妻の実家のある宇都宮に移り、以後、ここで
絵画研究所を主宰するなど、活動。

1955(昭和30)年、自由美術協会会員となる。

1989年12月4日逝去。享年81。

平澤熊一は、父親、そして兄が大工で、サフラン酒の離れを作るほどの家に生まれながら、たまたま家業の建築を学ぶ途中で絵への情熱を捨てがたく、勘当されても絵描きを続けました。

戦前の作品が東京大空襲で全て火災で失われていますので、私の想像ですが、この「南苑」は、きっと摂田屋にあって、奇跡的に難を逃れたのと思われます。

但し、宇都宮に転居前後に製作か、という説もあります。その新居にアトリエを併設する資金のため、というのは確かなようです。

川上四郎(1889 - 1983)

東京美術学校西洋画科本科で藤島武二に学ぶ。
大正2年同科を卒業後、独協中学に奉職したが、
同5年、コドモ社に入って童画家となり、同社の雑誌
「童話」を舞台として活躍した。
童画の芸術的地位を高めるため、童画という名称を
作り、日本童画家協会を結成、のち、日本童画会々員となる。

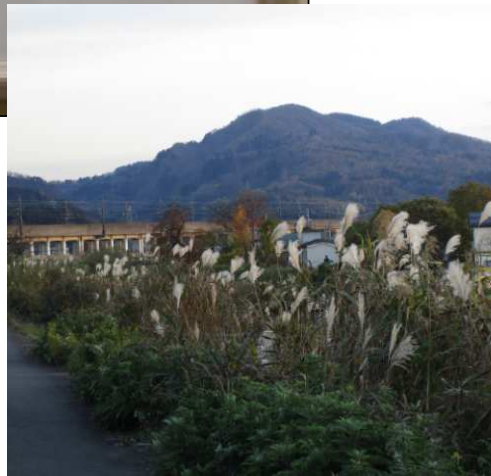


童画作家を
超える確かな
日本画描画。

摂田屋風景として、こんな作品を残してくれました。

長岡高校記念資料館の
所蔵品
在学時の作品「一本橋」

太田川から東を遠望した
絵で、後ろの山が金倉山
の山並みとわかります。



生家の絵 付近の絵

摂田屋 川上四郎の生家付近の童画

投稿者 春日正利 2024・2・10



生家の絵



田舎の絵

土手を東に向い、北に見える吉乃川の上組蔵の西面が隠れるあたりが、1889年生まれの川上四郎の生家です。左上図が生家の土蔵、手前の小川は、今も流れています。

小川は生活用水で、水利権もあって殆ど場所は変わりません。上の土蔵、下の田園風景も、ともに四郎の作品。きっと土手の稲架木に登ってスケッチしたのでしょう。

このあたりは、中世に摂田屋城があったところでもあります。「定明」のところでも述べましたが、摂田屋城は、鷺巣城、定明城、上条城ともに、中越南部平野部の守りを固めていたと思うのです。でも全てが景虎側。御館の乱では景勝側に敗れ、ひとつも残っていません。

ここは、栃尾城(のろし)、栖吉城、村松城が見渡される絶好の場所だったと思います。

秋山孝(1952 - 2022)

宮内生まれ。

イラストレータ、グラフィックデザイナー、イラストレーション学研究者。
多摩美術大学教授。秋山孝ポスター美術館長岡館長を務めた。

再オープンの背景（ミライ発酵本舗のWebページより）

長岡市出身で令和4年1月18日にご逝去された秋山孝氏の作品を展示・収蔵する「秋山孝ポスター美術館 長岡」および「蔵」が収蔵作品とともに、令和4年11月に長岡市に寄贈されました。「長岡市に寄贈したい」という秋山孝氏の遺志を引き継ぎ、ご遺族・秋山はる江さん(妻・東京都在住)から贈られたものです。今年4月からは、長岡市から運営業務委託を受けたミライ発酵本舗株式会社(まちづくり会社)が、旧機那サフラン酒本舗とAPMの運営を併せて担当していくことになりました。





秋山孝-04
 [Title] 吉内・御前屋 越 越後高田屋 (御前屋)
 [Date] 1930 - 7/29 sun (Sat)
 [Technique] Ink jet printing
 [Year] 2014
 [Media] 秋山孝ポスター-美術展目録
 [Category] Culture

2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録(以下「目録」)の展示が、おこなわれました。本展覧会は7月25日(土)から29日(木)まで、吉内・御前屋が展示する予定です。目録には、秋山孝の代表作である「越後高田屋」の複製が展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。



秋山孝-07
 [Title] 吉内・御前屋 越 越後高田屋 (御前屋)
 [Date] 1930 - 7/29 sun (Sat)
 [Technique] Ink jet printing
 [Year] 2014
 [Media] 秋山孝ポスター-美術展目録
 [Category] Culture

2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録(以下「目録」)の展示が、おこなわれました。本展覧会は7月25日(土)から29日(木)まで、吉内・御前屋が展示する予定です。目録には、秋山孝の代表作である「越後高田屋」の複製が展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。



秋山孝-08
 [Title] 吉内・御前屋 吉内 越後 (御前屋)
 [Date] 1930 - 7/29 sun (Sat)
 [Technique] Ink jet printing
 [Year] 2014
 [Media] 秋山孝ポスター-美術展目録
 [Category] Culture

2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録(以下「目録」)の展示が、おこなわれました。本展覧会は7月25日(土)から29日(木)まで、吉内・御前屋が展示する予定です。目録には、秋山孝の代表作である「越後高田屋」の複製が展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。



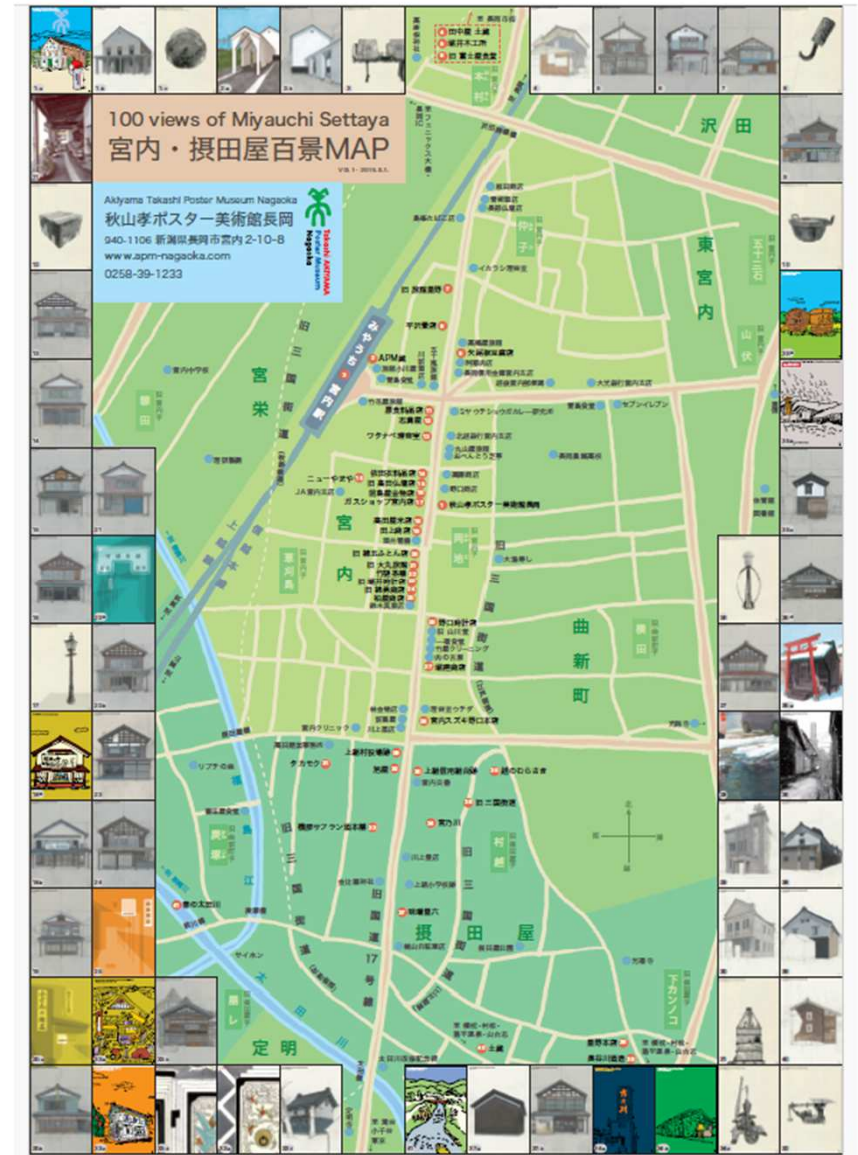
大沢啓介-01
 [Title] 吉内・御前屋 越 越後高田屋 (御前屋)
 [Date] 1930 - 7/29 sun (Sat)
 [Technique] Ink jet printing
 [Year] 2014
 [Media] 秋山孝ポスター-美術展目録
 [Category] Culture

2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録(以下「目録」)の展示が、おこなわれました。本展覧会は7月25日(土)から29日(木)まで、吉内・御前屋が展示する予定です。目録には、秋山孝の代表作である「越後高田屋」の複製が展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。この複製は、秋山孝の「越後高田屋」の複製を、2014年4月18日(土)から21日(火)までの期間、秋山孝ポスター-美術展目録として展示されています。



100 views of Echigo Takashi Akiyama Posters 4 / 2012.07.07sat - 09.23sun
 「越後百景十選」秋山孝ポスター展4

宮内摂田屋百景MAPに見られる商店の図も、
今や大変な文化遺産です。



④番外編として、河上伊吉

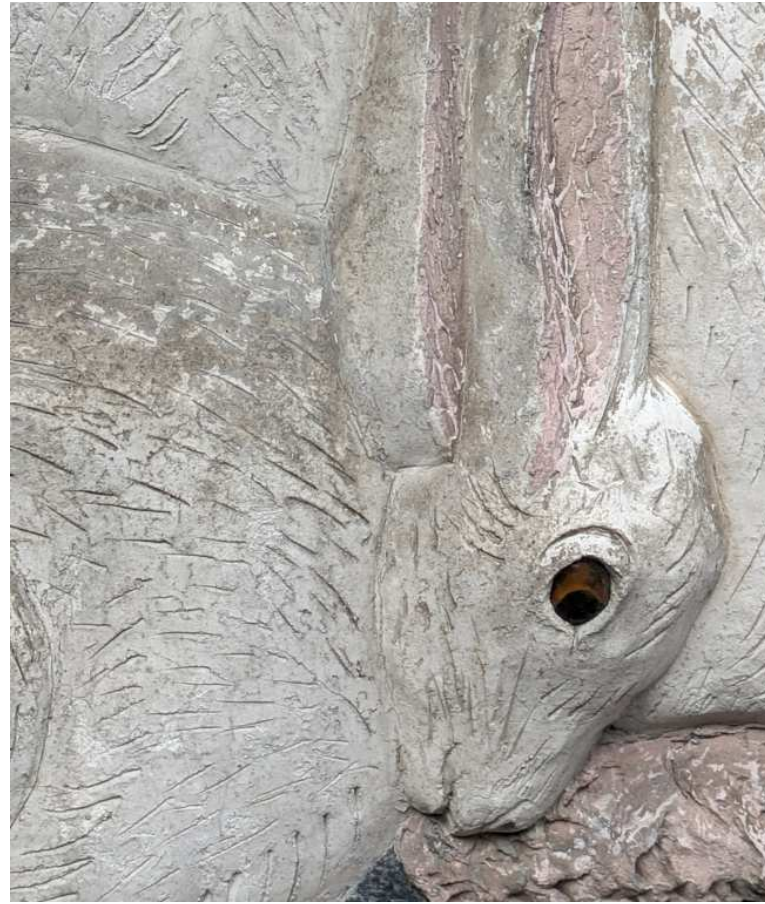
鰻絵の技だけでも、貴重な作品だと思います。



南面の酉は、今まで感じていた以上の、グラデーションの冴え。鰻だけで、ここまで。

いったい何色の薄茶の色漆喰を準備していたのでしょうか。

南面の西、兔の頭部の細密描写。驚きでした。
離れてみるのだから、ここまで不要と思われる
ところも、細部描写への圧巻のこだわりです。



今までも、美しいと
思っていましたが、
青の色だけでなく、
鋺の技も凄い。

鳳凰の翼が、
このような微細な表
現だったと、誰が
知ってたでしょうか。





土間から蔵の
四枚の鏝絵

こんな美しい
社屋が
あるでしょうか

番外編の二人目として松岡譲

一時期、摂田屋に疎開し、戦後は悠久山に居を写すまでの数年間、ここに生活してました。文人画家としても知られており、悠久山の郷土史料館に、彼のスケッチブック、油彩画が、油彩画の絵具箱などの愛用品とともに、展示されています。

小説家としても、つまらぬ雑事に煩わされた時期が長かったようですが、もし、これがなければ、国民的小説家のひとりであったと思います